

松川町ゼロカーボンシティ宣言

～ 松川町は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します ～

世界気象機関（WMO）は、世界各地で発生している記録的な高温や大雨、大雪、大規模な干ばつなどの異常気象が地球温暖化の傾向と一致しているとの見解を示しています。昨今では風雨災害の激甚化など、気候変動による影響が顕在化しています。気候変動を起こす要因として、二酸化炭素に代表される温室効果ガスの増加による地球温暖化が指摘されており、この非常事態を座視すれば、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐことはできないという強い危機感を抱かざるを得ません。

松川町環境保全条例では「松川町は『人の輝く緑と水と太陽のまち』まつかわを目指し、産業の振興と環境の調和を図り、良好な環境を将来の世代に引き継ぐ」としており、今の時代を生きる私たちは地球温暖化対策を講じていく義務があります。

松川町ではこの理念を継承し、また「松川町地球温暖化対策実行計画」に則り、豊かな森林と農業文化などの地域資源を活用し、かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和7年（2025年）3月21日

松川町長

北沢 秀公